



2020年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月13日

上場会社名 株式会社 アルデプロ
 コード番号 8925 URL <http://www.ardepro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椎塚 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 荻坂 昌次郎
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5367-2001

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第2四半期の連結業績(2019年8月1日～2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	13,594	11.2	1,187		484		607	
2019年7月期第2四半期	12,220	248.0	674		1,361		2,257	

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 552百万円 (%) 2019年7月期第2四半期 2,302百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	1.80	
2019年7月期第2四半期	6.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第2四半期	14,196	2,895	20.4
2019年7月期	20,781	3,802	11.0

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 2,892百万円 2019年7月期 2,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期		0.00		0.00	0.00
2020年7月期		0.00			
2020年7月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年7月期(予想)配当金につきましては、現時点では未定です。決定次第発表する予定です。

3. 2020年7月期の連結業績予想(2019年8月1日～2020年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,330	27.4	2,520		2,350		2,004		5.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 日本住宅開発特定目的会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年7月期2Q	337,234,159 株	2019年7月期	337,234,159 株
期末自己株式数	2020年7月期2Q	16,312 株	2019年7月期	15,542 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年7月期2Q	337,218,438 株	2019年7月期2Q	330,861,557 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が引き続き弱含む中、製造業を中心に弱さが一段と増しており、個人消費も消費増税の影響により消費マインドが低下しております。景気動向指数の一致指数も2019年12月まで5カ月連続の悪化を示しております。

こうした状況下、当社グループは東京都心部や関西地区を中心に販売用不動産の売却活動を行ってまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、東京都港区に所在する販売用不動産を売却し利益を確保いたしました。そのほか、関西地区に所在する販売用不動産を売却いたしました。そして、今期業績見通しの達成に向けて東京都心部において販売用不動産の仕入活動を活発化しております。

以上から、連結売上高は135億94百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は11億87百万円（前年同期は6億74百万円の営業損失）、経常利益は4億84百万円（前年同期は13億61百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億7百万円（前年同期は22億57百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

① 不動産再活事業

上記のとおり、東京都港区に所在する販売用不動産や関西地区に所在する販売用不動産を売却いたしました。特に東京都港区に所在する販売用不動産は利益を確保して売却いたしました。

以上から、不動産再活事業の売上高は134億13百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は12億83百万円（前期は7億16百万円の営業損失）となりました。

② 不動産賃貸収益等事業

不動産賃貸収益等事業は、当社が保有する不動産物件に係る受取賃料収入や収入手数料等で構成されております。販売用不動産の売却により在庫物件が減少し、そのため受取賃料が減少したことにより、不動産賃貸収益等事業の売上高は1億80百万円（前年同期比53.5%減）、営業利益は1億67百万円（同46.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は128億70百万円（前連結会計年度末は203億84百万円）となりました。主な内訳としては、現金及び預金が9億52百万円（同27億17百万円）、販売用不動産が112億65百万円（同171億10百万円）などです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、13億26百万円（同3億96百万円）となりました。主な内訳としては、関係会社出資金が10億84百万円（前連結会計年度末はなし）などです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、82億8百万円（同130億31百万円）となりました。主な内訳としては、短期借入金が37億7百万円（同82億97百万円）、預り金（主に日本住宅開発特定目的会社が連結子会社から持分法適用会社に変更されたことによる影響）が38億43百万円（同1億88百万円）、1年内返済予定の長期借入金が37百万円（同42億2百万円）などです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、30億92百万円（同39億47百万円）となりました。主な内訳としては、長期借入金30億75百万円（同1億96百万円）などです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、28億95百万円（同38億2百万円）となりました。主な内訳としては、資本金が24億28百万円（同24億28百万円）、資本剰余金が2億94百万円（同29億28百万円）、利益剰余金が1億72百万円（同△30億68百万円）などです。以上の結果、自己資本比率は20.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は8億92百万円（前第2四半期連結累計期間末は6億85百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは41億33百万円の増加(前第2四半期連結累計期間は104億5百万円の増加)となりました。これは主に、たな卸資産の減少による増加56億39百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは3億94百万円の増加(前第2四半期連結累計期間は66百万円の増加)となりました。これは主に、定期預金の払戻しによる収入6億円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは55億17百万円の減少(前第2四半期連結累計期間は105億2百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の純増減による41億15百万円の減少、長期借入による収入による28億61百万円の増加、長期借入金の返済による支出による41億89百万円の減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月28日に公表した2020年7月期(連結)通期業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,717,284	952,246
販売用不動産	17,110,797	11,265,156
その他	755,169	851,423
貸倒引当金	△198,607	△198,607
流動資産合計	20,384,643	12,870,220
固定資産		
有形固定資産	7,133	6,425
無形固定資産	826	671
投資その他の資産		
関係会社出資金	-	1,084,760
その他	388,585	234,384
投資その他の資産合計	388,585	1,319,144
固定資産合計	396,545	1,326,241
資産合計	20,781,189	14,196,462
負債の部		
流動負債		
短期借入金	8,297,500	3,707,500
1年内返済予定の長期借入金	4,202,267	37,320
未払金	20,735	336,893
未払費用	48,940	5,010
預り金	188,869	3,843,403
未払法人税等	12,997	114,374
賞与引当金	4,878	4,217
その他	254,966	159,487
流動負債合計	13,031,156	8,208,206
固定負債		
社債	3,732,366	-
長期借入金	196,511	3,075,970
退職給付に係る負債	18,412	16,504
固定負債合計	3,947,289	3,092,474
負債合計	16,978,445	11,300,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,428,102	2,428,102
資本剰余金	2,928,102	294,072
利益剰余金	△3,068,506	172,990
自己株式	△2,318	△2,359
株主資本合計	2,285,379	2,892,805
新株予約権	-	2,975
非支配株主持分	1,517,363	-
純資産合計	3,802,743	2,895,780
負債純資産合計	20,781,189	14,196,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
売上高	12,220,031	13,594,234
売上原価	12,376,442	12,017,475
売上総利益又は売上総損失(△)	△156,410	1,576,759
販売費及び一般管理費	517,871	389,101
営業利益又は営業損失(△)	△674,281	1,187,657
営業外収益		
受取利息	3,825	1,093
未払配当金除斥益	3,397	5,032
受取保険金	17,149	-
雑収入	11,831	46,845
営業外収益合計	36,204	52,971
営業外費用		
支払利息	302,266	39,294
社債利息	116,974	15,839
支払手数料	255,548	57,984
消費税相殺差損	37,229	39,184
株式交付費	1,500	-
持分法による投資損失	-	603,333
その他	10,272	711
営業外費用合計	723,791	756,347
経常利益又は経常損失(△)	△1,361,868	484,281
特別利益		
新株予約権戻入益	280	-
特別利益合計	280	-
特別損失		
投資有価証券清算損	390	-
特別損失合計	390	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,361,978	484,281
法人税、住民税及び事業税	2,703	98,122
法人税等調整額	937,998	△165,956
法人税等合計	940,702	△67,833
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,302,680	552,115
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△45,403	△55,352
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,257,277	607,467

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,302,680	552,115
四半期包括利益	△2,302,680	552,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,257,277	607,467
非支配株主に係る四半期包括利益	△45,403	△55,352

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年8月1日 至2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,361,978	484,281
減価償却費	918	863
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,863	△661
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,224	△1,908
受取利息及び受取配当金	△3,825	△1,093
支払利息	419,240	55,133
持分法による投資損益(△は益)	-	603,333
支払手数料	255,538	57,984
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,258,179	5,639,637
前渡金の増減額(△は増加)	△329,765	△85,000
その他の流動資産の増減額(△は増加)	37,857	6,404
未払消費税等の増減額(△は減少)	△179,429	△4,325
前受金の増減額(△は減少)	500	△84,250
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△33,014	△2,464,636
その他	△2,871	△4,811
小計	11,060,710	4,200,953
利息及び配当金の受取額	3,825	1,093
利息の支払額	△496,774	△45,515
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△162,584	△22,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,405,177	4,133,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,021	△30,000
定期預金の払戻による収入	80,000	600,402
子会社株式の売却による収入	-	319,643
貸付けによる支出	-	△789,000
貸付金の回収による収入	25,700	293,000
有形固定資産の取得による支出	△627	-
その他	1,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	66,051	394,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,268,501	△4,115,454
長期借入れによる収入	-	2,861,470
長期借入金の返済による支出	△90,916	△4,189,488
配当金の支払額	△8,116	△157
社債の償還による支出	△646,662	△76,994
株式の発行による収入	499,996	-
新株予約権の発行による収入	21,509	2,975
自己株式の取得による支出	△24	△41
非支配株主への払戻による支出	△10,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,502,714	△5,517,691
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△31,485	△989,905
現金及び現金同等物の期首残高	717,284	2,086,880
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△204,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	685,799	892,245

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の内容

- (1) 会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金2,634,029千円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えました。
- (2) 会社法第452条の規定に基づき、上記資本準備金振替後のその他資本剰余金2,634,029千円を繰越利益剰余金に振り替えました。